

企業が伸びる、個性ある地域社会創造のために、今、何が必要か。何をすべきか。

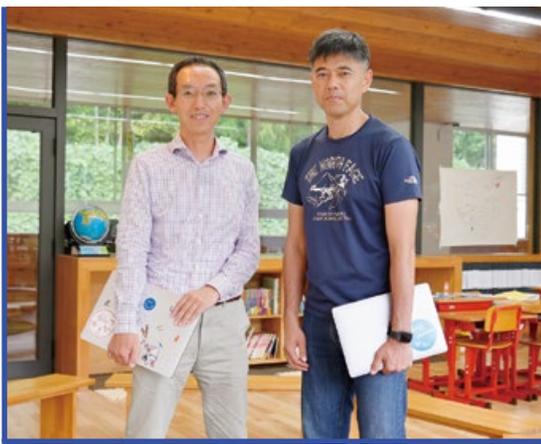
地方のICT戦略 [52]

Information and Communication Technology

大日向小学校は、今年4月、日本で初めてのイエナプランスクールとして佐久穂町に開校した小学校。旧佐久東小学校の建物を改築、校内に整備されていた光回線をリニューアルし、新たに「ギガらくWiFi」「おまかせサイバーみまもり」を導入。ICT教育を取り入れた質の高い授業を進めている。

誰もが、豊かに、そして幸せに生きる！とできる世界をつくる。

—まずはじめに、御校の特色を教えてください。
桑原 大日向小学校は、「誰もが、豊かに、



Interview
学校法人 茂来学園
桑原 昌之 校長 (右)
宅明 健太 教頭 (左)

そして幸せに生きることで世界をつくる。」という建学の精神のもと、2019年4月に長野県南佐久郡佐久穂町に開校した、日本で初めての(学校教育法第一条に定められた学校として)イエナプランスクール認定校です。
イエナプランスクールは、人は存在そのものに価値があり、かけがえない存在として尊重されるということをベースにし、「共に生きる」ことを学ぶ学校です。大日向小学校の子どもたちは、人々の自然な学習形態である4つの基本活動「対話・遊び・仕事(学習)・催し」をリズムカルに循環させる時間割で学びます。
また、大日向小学校では、1年生から3年生の子どもと一緒に学ぶクラスが2クラス、4年生から6年生の子どもと一緒に学ぶクラスが1クラスあり、年齢の違う子どもたちが同じ教室と一緒に学んでいます。年齢だけでなく、全国から集まってきていることから出身地も違います。もちろん、子どもたちの得意不得意や、好き嫌いも違えば、考え方も好きな時間の過ごし方も違う。このように、教室にいる子どもたちは、みんなそれぞれに違う中で日々を過ご(す)ことで、「人はみんな違う」ということを当たり前に捉えるようになります。

WiFi環境を整備し、ICT教育に積極的に取り組む学校が増えてきました。また、政府も2020年を目標に、小中学校の生徒に一人一台のタブレット端末を持たせて授業に役立てることを推奨しています。御校でも、質の高い学習環境を整えるために、「ギガらくWiFi」を導入されたのでしょうか？

桑原 今の時代は、どこへ行ってもWiFiが使えたり前と比べています。ICTを活用した当校の最大の特長は、教職員と生徒、そしてゲストの方のための3つのWiFi環境が整備されていることだと思っています。しかも、フリーWiFiで提供している学校は、全国的に見ても少ないんじゃないでしょうか。
当校にはもちろん保護者の方も来られますし、「大日向食堂」というカフェも併設しているので、地元のお客様も見られます。保護者の場合は、外国籍の方も含めて生徒は全国から集まってきていますので、住まいを借りている場合が少なくないです。そうすると、その住宅にWiFiが入っていない時は、学校に来て、ノートパソコンなどからインターネットにつなげる。今は、いろいろなワークスタイルをお持ちの方が多く、お子さんを学校に送った後に、ここで毎朝の仕事をごこなされる方もいらっしゃいます。一人でネットを使っていることもあれば、保護者同士がチャットを楽しんだり、生徒に関わるミーティングを行うこともあるようです。学校で開催する説明会や見学会でも、ICTを活用してビデオ上映を行うなど、だいぶ役立っていますよ。



大日向小学校では、生徒が自由にスマホやタブレットなどを持ち込んでいい決まりになっている。

カフェに来られる方は、スマホを使って、やはりネット環境を活用していらっしゃるようです。皆さんからは、WiFiがあるのは大変便利でありたいとおっしゃっていただいています。高速回線なので、快適に使えるのも魅力ですね。

—小学校にカフェがあるのは、地域に開かれた学校という印象がありますね。

桑原 当校では給食とはいわずに、「学校ごはん」と呼んで、生徒には地元の食材を使った料理をバイキング形式で提供しています。地域に開かれた食堂として、一般の方の入場も自由です。ノートパソコンなどでネットにつなげたい場合は、ゲスト用WiFiを使っていただいています。学校という場所が、地域の皆さまをつなげるオアシスのような存在になってくれたらいいなとも考えています。

校内でも自由にWiFiを使いICT教育を实践

—授業では、どのようにICTを活用されていますか？

桑原 現在、1・2・3階の東西に2台、そして体育館やカフェにもルーターが設置されており、どこに行ってもWiFiが使えるという好環境にあります。WindowsとMacを装備したパソコンのほか、iPad、Googleクロームも使える環境のなかで、先生からの一方的な学びではなく、主体的、創造的な学びに取り組んでいます。
今の子どもたちは、デジタルネイティブの世代ですから、私たち大人のはるか上をいく創造性を持っています。この前も校外学習で学校から車で15分ほどの所にある乙女の滝に行つたんですが、一人の生徒はスマホを使って、ムービー作品を仕上げていました。それも学校へ着く前に、しかもテロップ付きの動画を作成していたから驚きです。

—今後の抱負をお願いします。
桑原 大日向小学校が大切にしているものの中に、「自立する」「共に生きる」「世界に

目を向ける」があります。当然、学びは一人ではできないものですから、「ひと」「モノ」「コト」に絡みながら共に生き、学んでいくわけです。学習するフィールドは、学校の外にもあつて、情報収集だけでなく、情報発信のためにネットワークを活用することも、大事な学習の要素になってくるでしょう。たとえば、自分たちで撮影、編集して作った動画などを、多くの人に見てもらえるようにするなど、子どもたちが制作したものを、自分たちで世界に発信していかれたらと思います。当校の魅力だけではなく、佐久穂町という自然環境の素晴らしさなども同時に伝えていけるような学校づくりをみんなで目指していきたいですね。



Profile
○学校法人 茂来学園
しなのイエナプランスクール
大日向小学校
事業内容「誰もが、豊かに、そして幸せに生きることのできる世界をつくる。」という建学の精神のもと、イエナプラン教育を導入した日本初の学校。
開校 平成31年(2019年)4月
所在地 長野県南佐久郡佐久穂町大日向1-1-10
TEL 0297-81-2345
URL https://ienaplanschool.ac.jp